

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

24442

保育所整備事業（単独）

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	～	担当課・担当課長・Tel	子育て支援課	増田 博	435-1329
事業実施の根拠法令	子ども・子育て関連3法	関連課	保育こども園課		

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	市立保育所の施設整備を行うことで、安心安全な保育を提供できる環境を確保する。		安心安全な保育を提供できる環境を整備するとともに、施設の長寿命化及び待機児童の解消を図るため、保育所の整備を行う。		
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			市立保育所の施設整備（砂山保育所改修工事設計業務委託）	市立保育所の施設整備（砂山保育所改修工事）	市立保育所の施設整備

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	0	0	3,760	3,685	0	0	0	0	
伸び率（%）	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	0	0	0	4,872	6,836	0	6,836	0	
	正規職員以外	0	0	0	0	1,483	1,483	0	1,483	0	
	小計	0	0	0	0	6,355	8,319	0	8,319	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	3,000	3,200	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源（税等）	0	0	0	0	760	485	0	0	0	0	
所要人数 （人）	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.62	0.87	0.00	0.87	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29	0.29	0.00	0.29	0.00
主な予算内訳	令和5年度 砂山保育所改修工事設計業務委託 3,760千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
市立保育所施設整備予定数	園	目標値			1	1	
		実績値			1		
		達成度(%)	%	%	100%	%	%
市立保育所施設整備完了数	園	目標値			0	1	
		実績値			0		
		達成度(%)	%	%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	定期点検の結果や、園からの要望による修繕を行っているものの、築40年を超える施設が多く、保育に必要な設備を含め、老朽化が著しく進んでいる状況である。このため、これから先長期にわたり児童が安心・安全に利用できる施設となるよう長寿命化整備を実施する必要がある。
見直し・改善内容	保育所によって取り巻く環境が違うため、大規模改修だけではなく、移転統合や増改築整備等も含めた整備計画を早急に策定する必要がある。